

一般質問
知事答弁

雇用1万人計画前倒しへ

核廃絶への知事 の認識、県の取 り組みは



一般質問に立つゆり子議員
= 5日、県議会本会議場
(「しんぶん赤旗」提供)

5日の一般質問と答弁の要旨を紹介します。(前編)

渡辺ゆり子 オバマ大統領のプラハ演説で核兵器廃絶の国際世論が一層広がりを見せている。背景には、日本の原水爆禁止運動の影響や、県内を含む全国の自治体の平和都市宣言の取り組みなどがある。来年NPT(核不拡散条約)再検討会議を迎えるが、吉村知事は核兵器廃絶についてどう認識されているか。また非核県宣言など取り組みべきと思うがどうか。

吉村知事 核兵器のない世界に向けて各国が一步踏み出せるかどうか、極めて重要な時期



2009年10月18日
第78号
発行
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子
＜連絡先＞
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

を迎えたものと考えている。日本政府が積極的な対応をとるのは当然のことと考えている。

私自身は、広島の平和記念資料館の写真などで原爆の悲惨さを見て、大きな影響を受けた。核兵器は人類の負の遺産として、非常によくないものだといふふうに認識している。今を生きる私たち自身

仕事を求める悲痛な叫びに県はこたえよ 雇用計画前倒し、総合的対策を要求

渡辺 雇用の現状は、どの数値を見ても悪化が続いており、ハローワーク前の求職者アンケートでも、仕事を求める悲痛な叫びがあがっている。

県は「雇用創出1万人プラン」を掲げて雇用対策を進めてきたが、53%の達成率となっている。1万人プランの前倒し実施をはじめ、あらためて国へ労働者派遣法改正、雇用確保、失業者対策を要請すること、県としても誘致企業などへの雇用確保、生活密着型公共事業の優先実施、産業政策な

ど総合的雇用対策を、県あげて実施すべきと考えるが、現状認識と対策についてお聞きしたい。



知事 8月の有効求人倍率は0.35倍、低水準の横ばいで、依然厳しい状況と認識している。5.5%の失業率は過去最悪となっており、特に、来春高卒の求人倍率は昨年同期を大きく下回っている。

総合的雇用対策は、国全体の喫緊の課題としてこれまでも必要な

高校生の就職支援を

渡辺 特に、新規高卒者をめぐる雇用情勢は、未来を担う若者が県内に定着できない緊急事態だ。就職支援を県として強化する必要があると思うが、具体策はどうか。



佐藤商工労働観光部長 例年の企業要請に加え求人意向調査を行い、求人開拓に力を入れている。補正予算では若者就職支援センター

にコーディネート者を配置することにしている。国の動向を注視しながら県の施策を講じていきたい。

山口教育長 本年早々から就職担当の先生の企業訪問は例年の1.5倍、1000社にのぼっている。関係者の臨時の会議を開き情報交換しており、生徒自らも求人要請に向いている。

一人でも多くの生徒が内定を得られるようにしていきたい。生徒のキャリア教育などにも力を入れている。

消費者行政予算は全国最低水準

県 相談員の処遇改善を検討する

渡辺 これまで全国的に消費者行政の人員予算が削減され、なかでも山形県の予算は最低水準となっている(08年当初)。どう認識しているのか。

消費者庁が設置され消費

者行政強化が打ち出されているが、消費者被害の防止、多重債務対策など、その重要性は大きい。水準引き上げの取り組み方向についてはどうか。また予算や人員の充実、消費生活相談員の

を前倒しして早期達成めざす答弁が出されたのは良いとしても、ほんの一步です。新政権が発足して間もない時期、私だけでは問題提起していくと同時に、関係団体や労働組合との共同行動など、失業者のセーフティネット強化、社会保障や教育を含めた公的基盤再構築に向け、議会外の運動とも大いに力を合わせていきたいと考えています。



ゆり子の視点

私としては、一般質問で一番力を入れたのは、雇用対策についてでした。これまで寄せられた皆さんの声や相談などを思い浮かべながら、代弁するつもりで質問しました。

一般質問を終えて

なく各県議からの質問に對しても、国の施策が不透明、まだ明らかでない」との答弁が行われる場面が多くありました。

景気・雇用対策は緊急課題として急がれています。今議会での質問もそうですが、私自身も地方議会から問題提起していくと同時に、関係団体や労働組合との共同行動など、失業者のセーフティネット強化、社会保障や教育を含めた公的基盤再構築に向け、議会外の運動とも大いに力を合わせていきたいと考えています。